

平成29年6月定例会

予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

目 次

(7月10日)

1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過	
分科会長報告	3
採決	7
5、審査結果報告書	10

平成29年6月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月 日	曜	内 容 等
6月30日	金	分科会・常任委員会
7月 3日	月	分科会・常任委員会
7月 4日	火	分科会・常任委員会
7月 5日	水	分科会・常任委員会
7月10日	月	委員会（分科会長報告・採決）

7 月 10 日

(分科会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所

平成29年7月10日

自 午前11時00分
至 午前11時25分
於 本 会 議 場

〃 大久保潔重 君
〃 ごうまなみ 君
〃 吉村 洋 君
〃 山本 由夫 君
〃 宅島 寿一 君
〃 麻生 隆 君
〃 山口 経正 君
〃 近藤 智昭 君
〃 坂本 浩 君
〃 里脇 清隆 君
〃 吉村 正寿 君
〃 大場 博文 君
〃 宮本 法広 君

2、出席委員の氏名

委 員 長 橋村松太郎 君
副 委 員 長 吉村 庄二 君
委 員 宮内 雪夫 君
〃 八江 利春 君
〃 小林 克敏 君
〃 中山 功 君
〃 溝口英美雄 君
〃 渡辺 敏勝 君
〃 坂本 智徳 君
〃 瀬川 光之 君
〃 中島 廣義 君
〃 徳永 達也 君
〃 山田 博司 君
〃 久野 哲 君
〃 下条ふみまさ 君
〃 高比良 元 君
〃 外間 雅広 君
〃 堀江ひとみ 君
〃 中村 和弥 君
〃 山田 朋子 君
〃 松島 完 君
〃 浅田眞澄美 君
〃 西川 克己 君
〃 川崎 祥司 君
〃 前田 哲也 君
〃 友田 吉泰 君
〃 深堀 浩 君
〃 中島 浩介 君
〃 山本 啓介 君

3、欠席委員の氏名

委 員 三好 徳明 君
〃 野本 三雄 君

4、委員外出席議員の氏名

田中 愛国 君

5、県側出席者の氏名

危機管理監 豊永 孝文 君
総務部長 吉浜 隆雄 君
企画振興部長 古川 敬三 君
企画振興部政策監 柿本 敏晶 君
文化観光国際部長 松川 久和 君
文化観光国際部政策監 田代 秀則 君
県民生活部長 木村伸次郎 君
環境部長 太田 彰幸 君
福祉保健部長 沢水 清明 君
こども政策局長 永松 和人 君
産業労働部長 平田 修三 君
産業労働部政策監 山下 和孝 君
水産部長 坂本 清一 君

農 林 部 長	加藤 兼仁 君	正予算（第2号）
土 木 部 長	岩見 洋一 君	報告第4号
交 通 局 長	山口 雄二 君	平成28年度長崎県林業改善資金特別会計補 正予算（第2号）
<hr/>		
教 育 長	池松 誠二 君	報告第5号
<hr/>		
会 計 管 理 者	野嶋 克哉 君	平成28年度長崎県県営林特別会計補正予算 （第3号）
選挙管理委員会書記長	黒崎 勇 君	報告第6号
監 査 事 務 局 長	辻 亮二 君	平成28年度長崎県沿岸漁業改善資金特別会 計補正予算（第2号）
人事委員会事務局長 （労働委員会事務局長併任）	寺田 勝嘉 君	報告第7号
議 会 事 務 局 長	山田 芳則 君	平成28年度長崎県小規模企業者等設備導入 資金特別会計補正予算（第2号）
<hr/>		
警 務 部 長	壺岐 恭秀 君	報告第8号
<hr/>		
議会事務局職員出席者		平成28年度長崎県庁用管理特別会計補正予 算（第2号）
総 務 課 長	高見 浩 君	報告第9号
議 事 課 長	篠原みゆき 君	平成28年度長崎県長崎魚市場特別会計補正 予算（第1号）
政 務 調 査 課 長	本田 和人 君	報告第10号
議事課課長補佐	増田 武志 君	平成28年度長崎県港湾施設整備特別会計補 正予算（第3号）
議 事 課 係 長	小村あゆみ 君	報告第11号
議 事 課 係 長	小柳 正典 君	平成28年度長崎県流域下水道特別会計補正 予算（第4号）
議事課主任主事	天雨千代子 君	報告第12号
<hr/>		
6、付議事件の件名		平成28年度長崎県公債管理特別会計補正予 算（第2号）
第61号議案		報告第13号
平成29年度長崎県一般会計補正予算（第1号）		平成28年度長崎県港湾整備事業会計補正予 算（第4号）
報告第1号		報告第14号
平成28年度長崎県一般会計補正予算（第8号）		平成28年度長崎県交通事業会計補正予算（第 3号）
報告第2号		
平成28年度長崎県母子父子寡婦福祉資金特 別会計補正予算（第2号）		
報告第3号		
平成28年度長崎県農業改良資金特別会計補		

7、審査の経過次のとおり

— 午前11時00分 開議 —

【橋村委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

なお、三好委員から欠席する旨の届が出ておりますので、ご了承をお願いいたします。

また、野本委員から所用により、本委員会出席が遅れる旨、連絡がっておりますので、ご了承をお願いいたします。

これより、議事に入ります。

まず、本日の委員会の会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、高比良委員、宅島委員のご両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました、第61号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」ほか14件を議題といたします。

これより、各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

吉村 洋総務分科会長。

【吉村（洋）総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第61号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分ほか3件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項についてご報告申し上げます。

報告第1号「平成28年度長崎県一般会計補正予算（第8号）」のうち関係部分について、「国際定期航空路線維持・拡大事業」に関し、「歳出予算で1,987万6,000円の減額となっているが、

その理由はなにか。」との質問に対し、「平成28年度については、利用者数がかなり落ち込んでおり、上海便で1,586人の減、ソウル便では2,793人の減であった。その結果、利用者数に応じて交付する助成金が、最終的に減額となったためである。昨年の4、5月には、中国の団体客の予約が往復約800席キャンセルになるなど、昨年4月の熊本地震が大きく影響しているものと考えている。」との答弁がありました。

これに関連し、「国際航空路線の維持・拡大についての今後の取組はどのように考えているのか。」との質問に対し、「インバウンド対策に加えて、路線の維持・拡大には日本からのアウトバウンドも重要だと考えている。今年度初めての取組として、上海便、ソウル便の利用促進について旅行会社との協議を行った。その結果、8月から10月にかけての旅行商品が造成される予定である。」との答弁がありました。

次に、「企業版ふるさと納税」に関し、「歳入予算で2,840万円の増額となっているが、この寄附を財源として実施する『地方創生プロジェクト』別の寄附の内訳はどうなっているか。」との質問に対し、「奨学金返済アシスト事業などを含む『地域の将来を担い支える若者の人材育成支援プロジェクト』で2,760万円、世界遺産関係の『長崎の宝物を世界と未来につなぐプロジェクト』で390万円、輸出拡大に関する『日本の最西端ながさきが目指す国際展開プロジェクト』で130万円であり、平成28年度の合計で3,280万円の寄附をいただいている。」との答弁がありました。

これに関連し、「奨学金返済アシスト事業関連のプロジェクトへの寄附額が非常に大きい、大学生等のアシスト事業の対象者を、自社に採用できるかどうかわからない状況の中でも、多くの企業が長崎県のために協力していただい

いる。どのような取組を行い、これだけの寄附を集めることができたのか。」との質問に対し、「通常の寄附では、損金算入により寄附額の3割程度が税額控除となるどころ、企業版ふるさと納税制度では、寄附額の約6割の税額控除が受けられるというメリットをアピールポイントとし、東京事務所、大阪事務所、産業振興財団、政策企画課が連携して、100社程度、個別に企業の訪問を行ったことが功を奏したものと考えてる。」との答弁がありました。

以上のほか、総務関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、よろしく願いいたします。

【橋村委員長】次に文教厚生分科会長の報告を求めます。

山本 由夫文教厚生分科会長。

【山本（由）文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第61号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分ほか2件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり、可決・承認すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告いたします。

第61号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分について、まず、「学校体育振興費」に関し、「オリンピック・パラリンピック教育の実践と啓発を図るため、具体的にどの様な取組を進めるのか。」との質問に対し、「推進校20校程度を県内全域の公立小・中・高

等学校及び特別支援学校の中から公募し、指定された推進校へ、オリンピックやパラリンピアンを派遣して、講演会や交流体験及び技術指導等を行う。また、啓発用ポスターの作成やパネル展示を行うことにより、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、機運の醸成を図っていきたい。」との答弁がありました。

次に、「幼児教育推進事業費」に関し、「臨床心理士などの専門家派遣による、いわゆる「気になる子」やその親への対応、幼稚園教諭のメンタルケアの助言・指導を行う実行委員会の構成員や事業内容はどのようになっているのか。また、幼稚園ばかりではなく保育所への支援もできないか。」との質問に対し、「実行委員会は、長崎大学・こども医療福祉センター・幼稚園関係団体・現場の教諭等の6名で構成されている。まず、全ての幼稚園と幼保連携型認定こども園へアンケートを実施し、10箇所の園を対象として選定し、そのうち5園へ臨床心理士等の専門家を4回程度派遣する。そして、派遣しなかった5園との効果を比較することにより、幼稚園教諭の負担軽減が図られるメカニズムを調査研究し、離職防止・定着促進につなげたい。今年度は文部科学省からの委託調査研究事業のため、幼稚園と幼保連携型認定こども園を対象としているが、得られた調査結果は、保育所へも活用していきたい。」との答弁がありました。

また、「保育士人材確保等事業費」に関し、「キャリアアップ研修の対象者はどれくらいを見込んでいるのか。また、今年度は県央地区で開催されないが、今後の開催地区はどのように考えているのか。」との質

問に対し、「研修の対象者は4,000名程度を見込んでいる。今年度は初年度で、試行的に本土地区2箇所、離島地区3箇所の開催を予定しているが、次年度以降の開催については、今年度の状況をふまえて検討していきたい。」との答弁がありました。

これに対し、「保育士等対象職員にとって有利な制度であり、多くの保育士の処遇改善につながるよう積極的な研修受講を働きかけるべきである。」との意見がありました。

次に、報告第2号「平成28年度長崎県母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算(第2号)」について、「母子父子寡婦福祉資金貸付金について、減額補正が行われているが、その内容等はどうなっているのか。また、貸付金利用者が減っている理由は何だと考えているか。」との質問に対し、「貸付件数及び金額は、平成27年度の375件、1億3,900万円から、平成28年度の319件、1億2,800万円へと件数、金額ともに減少している。貸付の約9割が子どもの進学資金にかかるものであるが、他の貸付金制度等の活用や母子世帯数の減少等もあり実績が減少していると考えている。」との答弁がありました。

これに対し、「一般の奨学金制度が改善されていく中で、この母子父子寡婦福祉資金貸付金が、多くの方に利用していただけるよう、将来的に子ども達への負担を生じない制度となるよう検討してほしい。」との意見がありました。

以上のほか、文教厚生関係予算全般にわたり、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、よろしくお願いたします。

【橋村委員長】次に環境生活分科会長の報告を求めます。

ごう環境生活分科会長。

【ごう環境生活分科会長】環境生活分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第61号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算(第1号)」のうち関係部分ほか5件であります。

慎重に審査いたしました結果、報告第1号「平成28年度長崎県一般会計補正予算(第8号)」のうち関係部分につきましては、起立採決の結果、承認すべきものと決定いたしました。

その他の議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

まず、第61号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算(第1号)」のうち関係部分について、「官民連携事業費」に関し、国土交通省の補助事業により、上五島地域をモデルとした、公共インフラ維持管理の包括的民間委託等に係る導入可能性調査を行うとのことであるが、この新たな形態をとることによって、事業の目的である地域を支える建設業者の確保をどのように達成されようとしているのか。」との質問に対し、「包括的民間委託を行うことにより、一定規模の業務受注が確保され、新たな雇用が生まれるということも期待される場所である。先進事例も調査しながら、上五島地域の実態に合った方法を検討していきたい。」との答弁がありました。

これに対し、「具体的な調査方法等については、いつ頃確定し、公表されるのか。」との質問に対し、「具体的な調査内容や期間については、今後、シンクタンク等のノウハウを活用し

ながら検討を進め、改めて、報告を行いたい。」との答弁がありました。

次に、報告第1号「平成28年度長崎県一般会計補正予算（第8号）」について、「カネミ油被害者対策費」に関し、「一斉検診に要する経費等が減額となった背景について、どのように捉えているか。」との質問に対し、「一斉検診については全額国庫補助事業であり、不足が生じないよう過去5年間の状況から245名分に当たる予算を計上していたが、予定より少ない209名の受診者数に留まり執行残が生じた。」との答弁がありました。

これに対し、「高齢者も多く、検診が受けやすい体制をとりながら予算が残ることなく執行していくよう取り組んでもらいたい。」との意見がありました。

次に、「ながさき太陽光倶楽部寄附行為」に関し、「歳入162万5,000円の減となっているが、減額の理由は何か。」との質問に対し、「ながさき太陽光倶楽部は、県内の太陽光発電設備を設置された家庭を会員とし、1,750世帯に参加いただいている。会員の太陽光発電により削減された二酸化炭素相当分のJ-クレジットを企業等へ売却し、その売却益を長崎県環境美化基金に寄附している。28年度予算においては、2,181トン分のクレジットを売却予定としていたが、300トンの売却実績となり寄附収入の減収となった。なお、保有する残りのクレジットについては、今年度に入り全量を売却したところである。」との答弁がありました。

これに対し、「国内では、3・11以降、CO₂の排出量は、かなり増えていると考えられるため、クレジットを購入しようとする企業は多いと思われる。各家庭から広く参加いただけるよう、なお一層のPRに努めてもらいたい。」との意見がありました。

次に、報告第14号「平成28年度長崎県交通事業会計補正予算（第3号）」について、「運輸収入」に関し、「臨時運輸収入として、貸切バスの収入が増となっているが、どのような努力をされたのか。」との質問に対し、「熊本地震の影響により県外修学旅行68校の予約がキャンセルとなるなど、厳しい状況であったことから、2月補正予算編成において、貸切収入の大幅な減額を行ったが、12月以降、県外の一般団体やクルーズ船入港増に伴い大幅に貸切バスの稼動が増えたこともあり、今回、増収となった。全国的な九州支援の動きの中で、東京案内所を中心とした営業活動等に取り組んだ成果が表われたものと考えている。」との答弁がありました。

以上のほか、環境生活関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、環境生活分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【橋村委員長】次に農水経済分科会長の報告を求めます。

宅島農水経済分科会長。

【宅島農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第61号議案「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分ほか8件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましても、いずれも異議なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

まず、報告第1号 知事専決事項報告「平成28年度長崎県一般会計補正予算（第8号）」のうち「燃料電池船建造プロジェクト事業費」に

関し、「予算について、平成28年度当初と平成27年度繰越を合わせると8,216万円であったが、補正で減額し、平成28年度最終予算は538万円となっている。この減額の理由はどのようなものなのか。」との質問に対し、「国庫事業を活用した水素製造施設整備にかかる費用6,750万円、民間が実施する燃料電池船の設計検討にかかる国補助への県費上乗せ費用333万円を予定していたが、いずれも国のプロジェクトの獲得に至らなかったため、減額したものである。」との答弁がありました。

これに対し、「この事業目的は、水素を活用した燃料電池船等の研究開発・普及を促進し、県内造船業の振興及び水素関連産業の新しい市場の創出を目指す、となっている。国の予算が獲得できなかったから断念するのではなく、県単独予算で実施できないのか。」との質問に対し、「国の予算の活用を第一と考えているが、今後とも水素及び燃料電池の活用を推進するように検討を行うとともに、県財政当局とも事業の必要性を協議していきたい。」との答弁がありました。

次に、報告第9号「平成28年度長崎県長崎魚市場特別会計補正予算（第1号）」に関し、「長崎魚市場特別会計の使用料の減の主な理由と、県としての対策はどのように考えているのか。」との質問に対し、「昨年度は、まき網漁業を中心とするアジ、サバ等の漁獲高の減少により使用料が減額となったことが主な理由である。今後、県としては、更に長崎魚市場の高度衛生化等の整備を通じて漁獲物の価値を高める取組を進めていきたい。」との答弁がありました。

これに対し、「長崎魚市場の活性化は県民所得向上にも繋がるため、今後もしっかりと取り組んでもらいたい。」との意見がありました。

次に、「株式会社長崎県漁業公社の報道」に

関し、株式会社長崎県漁業公社の代表取締役社長を参考人として招致し、意見聴取を行った。その内容については、「今年の1月にパワハラ調査を実施しているが、その結果はどのようなものであったのか。」との質問に対し、「19名の社員に聞き取り調査を行った結果、2名がパワハラを受けた、8名が見聞きしたとの調査結果であった。」との答弁がありました。

これに対し、「そのような状況は、組織的に問題があると思われる。抜本的な改革が必要と思うが、県としてどのように取り組んでいくのか。」との質問に対し、「平成29年4月にハラスメントの防止等に関する要綱を制定し、社員の相談窓口の設置を社内のほか第三者機関として、県の水産部にも設置したところである。こういった体制を強化し再発防止に取り組んでいきたい。」との答弁がありました。

以上のほか、農水経済関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、よろしくお願いたします。

【橋村委員長】以上で、各分科会長の報告が全て終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑・討論を省略し、直ちに採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【橋村委員長】ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

まず、報告第1号「平成28年度長崎県一般会計補正予算（第8号）」について、採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成委員起立〕

【橋村委員長】起立多数。

よって、報告第1号は、承認すべきものと決定されました。

次に、その他の議案について、一括して採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり可決・承認すべきものと決定されました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、6月定例会における予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

— 午前11時25分 閉会 —

平成 29 年 6 月 定例会 予算決算委員会
付 託 議 案 一 覧 表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	環境 生活	農水 経済
予算議案	第 61 号	平成 29 年度長崎県一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○
報告議案	報告 第 1 号	平成 28 年度長崎県一般会計補正予算（第 8 号）	○	○	○	○
	報告 第 2 号	平成 28 年度長崎県母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算（第 2 号）		○		
	報告 第 3 号	平成 28 年度長崎県農業改良資金特別会計補正予算（第 2 号）				○
	報告 第 4 号	平成 28 年度長崎県林業改善資金特別会計補正予算（第 2 号）				○
	報告 第 5 号	平成 28 年度長崎県県営林特別会計補正予算（第 3 号）				○
	報告 第 6 号	平成 28 年度長崎県沿岸漁業改善資金特別会計補正予算（第 2 号）				○
	報告 第 7 号	平成 28 年度長崎県小規模企業者等設備導入資金特別会計補正予算（第 2 号）				○
	報告 第 8 号	平成 28 年度長崎県庁用管理特別会計補正予算（第 2 号）	○			
	報告 第 9 号	平成 28 年度長崎県長崎魚市場特別会計補正予算（第 1 号）				○
	報告 第 10 号	平成 28 年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第 3 号）			○	
	報告 第 11 号	平成 28 年度長崎県流域下水道特別会計補正予算（第 4 号）			○	
	報告 第 12 号	平成 28 年度長崎県公債管理特別会計補正予算（第 2 号）	○			
	報告 第 13 号	平成 28 年度長崎県港湾整備事業会計補正予算（第 4 号）			○	○
	報告 第 14 号	平成 28 年度長崎県交通事業会計補正予算（第 3 号）			○	

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

平成29年7月10日

予算決算委員会委員長 橋村 松太郎

議長 田中 愛国 様

記

1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 61 号 議 案	平成29年度長崎県一般会計補正予算（第1号）	原案可決
報 告 第 1 号	平成28年度長崎県一般会計補正予算（第8号）	承 認
報 告 第 2 号	平成28年度長崎県母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算（第2号）	承 認
報 告 第 3 号	平成28年度長崎県農業改良資金特別会計補正予算（第2号）	承 認
報 告 第 4 号	平成28年度長崎県林業改善資金特別会計補正予算（第2号）	承 認
報 告 第 5 号	平成28年度長崎県県営林特別会計補正予算（第3号）	承 認
報 告 第 6 号	平成28年度長崎県沿岸漁業改善資金特別会計補正予算（第2号）	承 認
報 告 第 7 号	平成28年度長崎県小規模企業者等設備導入資金特別会計補正予算（第2号）	承 認
報 告 第 8 号	平成28年度長崎県庁用管理特別会計補正予算（第2号）	承 認
報 告 第 9 号	平成28年度長崎県長崎魚市場特別会計補正予算（第1号）	承 認
報 告 第 10 号	平成28年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第3号）	承 認
報 告 第 11 号	平成28年度長崎県流域下水道特別会計補正予算（第4号）	承 認
報 告 第 12 号	平成28年度長崎県公債管理特別会計補正予算（第2号）	承 認
報 告 第 13 号	平成28年度長崎県港湾整備事業会計補正予算（第4号）	承 認
報 告 第 14 号	平成28年度長崎県交通事業会計補正予算（第3号）	承 認

計 15件（原案可決 1件・承認 14件）

委員 長 橋 村 松 太 郎

副 委 員 長 吉 村 庄 二

署 名 委 員 高 比 良 元

署 名 委 員 宅 島 寿 一

書 記 小 村 あ ゆ み

速 記 (有)長崎速記センター